

高知市アルゼンチンアリ防除計画

令和8年2月

高知市 環境部

目次

1	背景と目的	1
2	概要	1
3	既往調査の概要	3
4	防除計画	5
5	防除計画の推進	8
6	参考情報	9

啓発資料

1 背景と目的

「特定外来生物」に指定されているアルゼンチンアリは、南米原産のアリで、1993年（平成5年）に広島県で発見されて以降、本州の各地や四国で定着が確認されている。アルゼンチンアリは、輸入される資材等に付着し国内に侵入したと考えられている。

高知県では、2023年（令和5年）の9月に高知県宛てに高知市棧橋通の一部地域で発見されたアルゼンチンアリと疑われるアリの情報提供があり、環境省にその個体の確認を依頼した結果、アルゼンチンアリであることが特定され、高知県初の事例となった。

なお、本計画は、本市においてアルゼンチンアリによる生態系等への影響を軽減するための防除方法を示すものであり、環境省の特定外来生物防除等対策事業を活用し、当該事業における「特定外来生物早期防除計画」として策定するものである。

2 概要

1) 和名等

ハチ目アリ科アルゼンチンアリ (*Linepithema humile*)

2) 分布

原産地：南米

国内：東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、高知県など

3) 形態・生態

体長2.5～3mm程度の小型のアリで、体色は薄い黒褐色から茶褐色。働きアリの寿命は約1年。多くの働きアリが行列を作り敏速に活動することが特徴である。積荷や鉢植え等、わずかな空間を利用して営巣することが可能である。雑食性で、節足動物のほか、甘露や植物の花蜜など、多様な餌を摂食する。



拡大(顕微鏡)*

採餌中の個体*

アルゼンチンアリ

*環境省ホームページ外来種写真集より

<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>

4) 想定される侵入経路

国内の生息地から、木材、コンテナ、切り花、園芸植物、園芸資材などによって人為的に運ばれて侵入し、定着した可能性がある。

5) 指定の状況

アルゼンチンアリに対する外来生物法を含む指定の状況は以下のとおりである。

なお、「高知県で注意すべき外来種リスト」の作成時（2020年）はアルゼンチンアリの生息が確認されていなかったため、「定着予防外来種」として指定されている。

アルゼンチンアリの指定の状況

指定の状況	区分※
特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）	特定外来生物
我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）	緊急対策外来種
高知県で注意すべき外来種リスト	定着予防外来種
日本の侵略的外来種ワースト 100	○
世界の侵略的外来種ワースト 100	○

※特定外来生物：生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすおそれのある生物
緊急対策外来種：対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要が高い種
定着予防外来種：本県に未定着、または四国内など近隣で定着が確認されている外来種

6) 生態系等への影響

アルゼンチンアリは、競争力・攻撃性が非常に高く、その侵入地では在来のアリの種類が著しく減少するなど生態系への被害が懸念されている。また、アルゼンチンアリは行列を作って屋内に侵入し、不快害虫にもなる。さらに、農作物の芽や蕾、花等の植物体を傷つけたりすることで農業害虫としての被害も懸念されている。

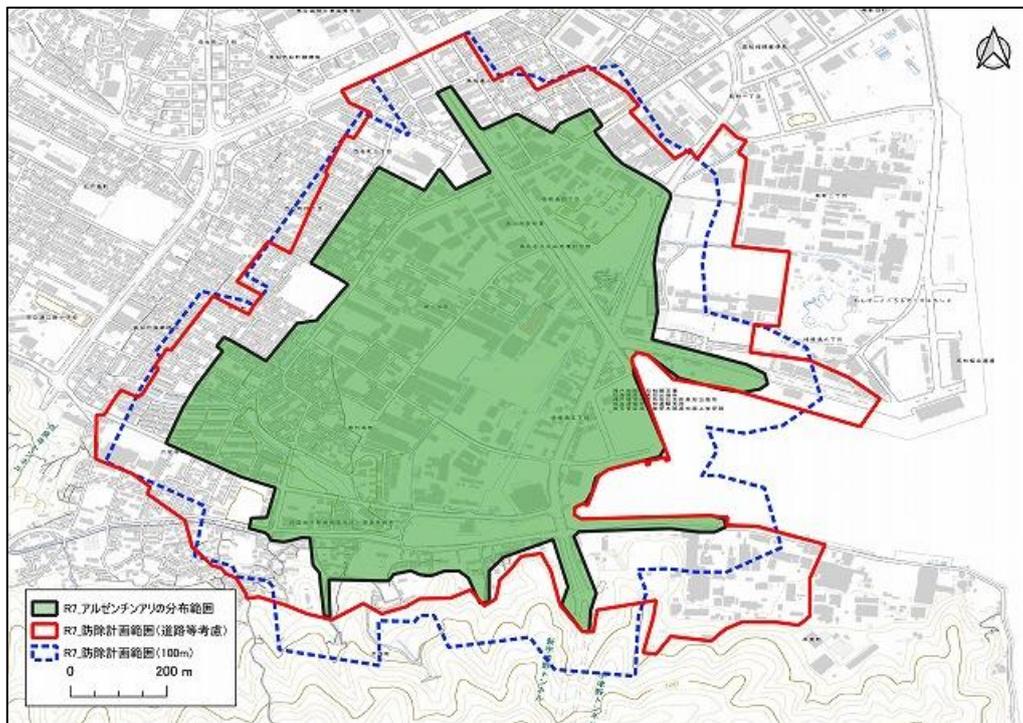
3 既往調査の概要

令和 6 年 12 月に高知県が実施した「高知県アルゼンチンアリ分布調査業務」において、アルゼンチンアリの分布範囲が特定された。その後、令和 6 年度から令和 7 年度にかけて高知市が実施した「特定外来生物早期防除計画策定業務」において、アルゼンチンアリの分布範囲の見直しや防除に使用する薬剤の効果についての検証が行われている。

1) アルゼンチンアリの分布範囲と防除区域の設定

現在、高知市の潮江地区の広い範囲でアルゼンチンアリの生息が確認されている。

令和 6 年度業務（高知市）では、アルゼンチンアリの分布範囲の周縁部から 100m（分布拡大速度 50-150m/年の平均値）を防除区域に設定することが検討された。この検討結果に従い、令和 7 年度業務（高知市）では立地環境（住宅地・道路・森林など）を考慮して詳細な防除区域を設定した。



アルゼンチンアリの分布範囲と防除予定区域

2) 使用する薬剤

令和6年度業務（高知市）では、市販品を含む3種類のベイト剤について防除効果や作業性などが検討された。この結果、いずれのベイト剤もアルゼンチンアリに対する防除効果が優れていることが確認されている。また、令和7年度業務（高知市）では市販ベイト剤のみを使用し、広い範囲で一定の防除効果が確認された。

今後、防除活動は地域住民と協力して実施することになる。このため、準備（調合）の必要なベイト剤は使用してもらえない可能性が高い。したがって、ベイト剤はコストが高くて天候の影響を受けない「市販ベイト剤」を使用することが望ましいとされている。

使用するベイト剤の検討結果

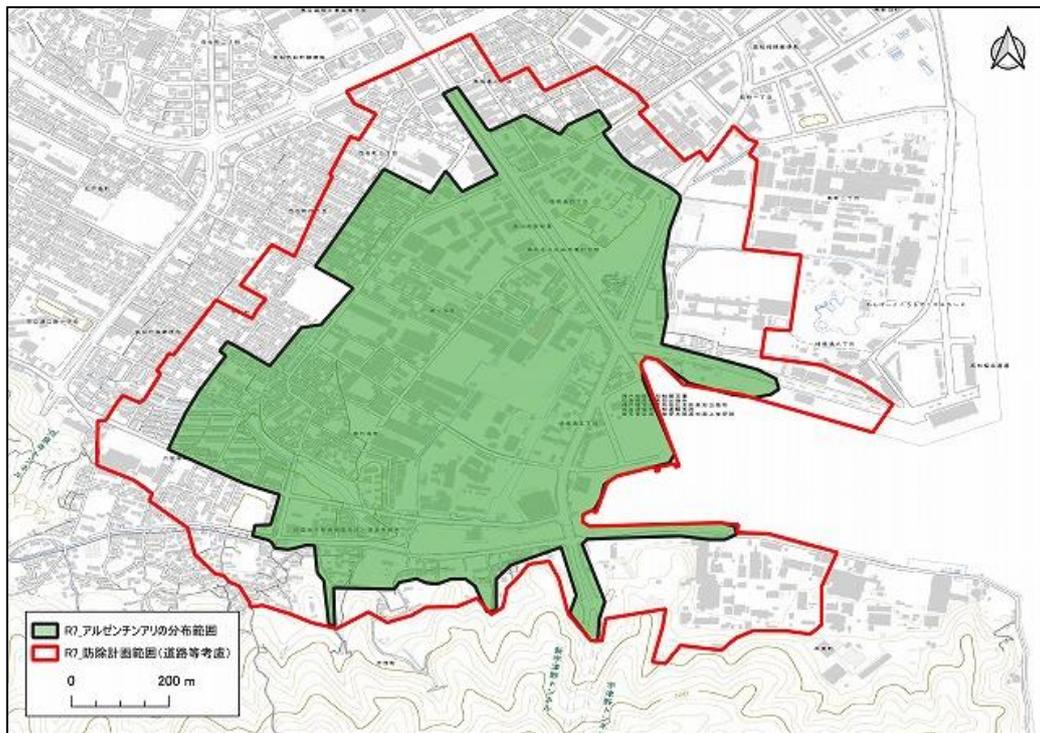
項目	ベイト剤の種類		
	市販ベイト剤	ハイドロジェルベイト剤	粉末状ベイト剤
1 防除効果 (令和6年度 試験結果)	<ul style="list-style-type: none"> 効果あり 有効成分 (フィプロニル) 	<ul style="list-style-type: none"> 最も効果あり 有効成分 (チアメトキサム) 	<ul style="list-style-type: none"> かなり効果あり 有効成分 (フィプロニル)
2 防除剤の費用 (100mあたり)	<ul style="list-style-type: none"> 20個 (5mごとに1個) 622円 	<ul style="list-style-type: none"> 1kg (1mごとに10g) 69.5円 	<ul style="list-style-type: none"> 不明
3 準備作業	<ul style="list-style-type: none"> 調合の必要なし 配布しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 調合の必要あり <材料> チアメトキサム液剤 (0.05g) 砂糖 (上白糖 200g) 水 (800g) 高吸収ポリマー (5g) 	<ul style="list-style-type: none"> 調合の必要なし <材料> フィプロニル粉末
4 設置作業	<ul style="list-style-type: none"> 設置は容易 軽い 	<ul style="list-style-type: none"> 設置は容易 多くの量を運べない 	<ul style="list-style-type: none"> 設置は容易 軽い
5 回収作業	<ul style="list-style-type: none"> 必要あり (プラスチック製) 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なし 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なし
6 耐性 (雨天時)	<ul style="list-style-type: none"> 高い 	<ul style="list-style-type: none"> 低い 	<ul style="list-style-type: none"> 低い (風の影響も受ける)
7 入手の容易さ	<ul style="list-style-type: none"> 市販あり 	<ul style="list-style-type: none"> 市販なし(調合品) 材料は購入可能 精密な秤が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 市販なし
総合評価 (令和7年度)	<p>最も適している</p> <ul style="list-style-type: none"> コストは高いが、容易に設置可能 耐性が高い 	<p>やや適している</p> <ul style="list-style-type: none"> コストは低い、調合の必要がある 耐性が低い(雨) 	<p>適していない</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販なし 耐性が低い(雨風)

4 防除計画

1) 対象範囲

令和7年度業務（高知市）において、立地環境（住宅地・道路・森林など）を考慮して設定されたアルゼンチンアリの「分布範囲の周縁部から100m」を防除区域とする。

アルゼンチンアリの防除の実施にあたっては、全域（生息域の周辺を含む）、または周縁部（生息域の周辺のみ）のいずれかを対象範囲とすることを検討しなければならない。ただし、周辺部のみを対象とした場合はアルゼンチンアリの根絶させることができない。



防除の対象範囲

2) 使用するベイト剤

アルゼンチンアリの駆除は遅効性の殺虫剤（フィプロニル、ピリプロロールなど）が含まれるベイト剤を用いて「一斉防除」することが効果的である。国立環境研究所および環境省は、東京都においてフィプロニルを主成分とするベイト剤および液剤を用いた約4年間の防除活動によりアルゼンチンアリの根絶に成功している。

ベイト剤は、アルゼンチンアリに固形の餌を持ち帰らせて幼虫や成虫に分け与えることで巣ごと駆除するものが効果的である。また、フィプロニルなどを含む液体をアルゼンチンアリの巣や行列に直接散布し、アリ同士で体をなめ合う習性（グルーミング）を利用して他のアリに次々に殺虫成分を伝えることができる。一方、即効性のあるスプレー型殺虫剤はその場で殺虫できるが、巣内の個体を含めて駆除できないので防除効果が低い。

防除にあたっては、多くの方に協力してもらえよう、容易に設置できる固形の薬剤を配布することを検討する。コスト削減のため調合（粉末と水の混合など）を必要とする薬

剤を配布した場合、使用されずに廃棄される可能性がある。また、適切な大きさの薬剤を配置しないとペットが誤食する可能性がある。

なお、薬剤の配布を行う際はアルゼンチンアリに営巣させないように木材、ブロックなどの資材や植木鉢、プランター等を直接地面に置かないように周知する。



固形タイプ



液体タイプ

(スプレータイプの容器を使用すると効果的)

使用する薬剤 (例)

(製品名 : フマキラー社製 アルゼンチン巣ごと退治)

3) 防除の時期・回数

アルゼンチンアリの活動温度は、5～35℃の範囲内とされている。巢外での活動が低下する冬季を除いた4月～10月の間に、ベイト剤を2週間程度で交換しながら継続して設置し、なるべく多数回の防除を実施することが最も効果的である。

長期間の防除が実施できない場合は、4月～5月と9月～10月の各期間にベイト剤を2週間程度で交換しながら設置することが効果的である。

いずれの場合も、作業は2年連続で実施することが望ましい。

アルゼンチンアリ防除時期の選定根拠

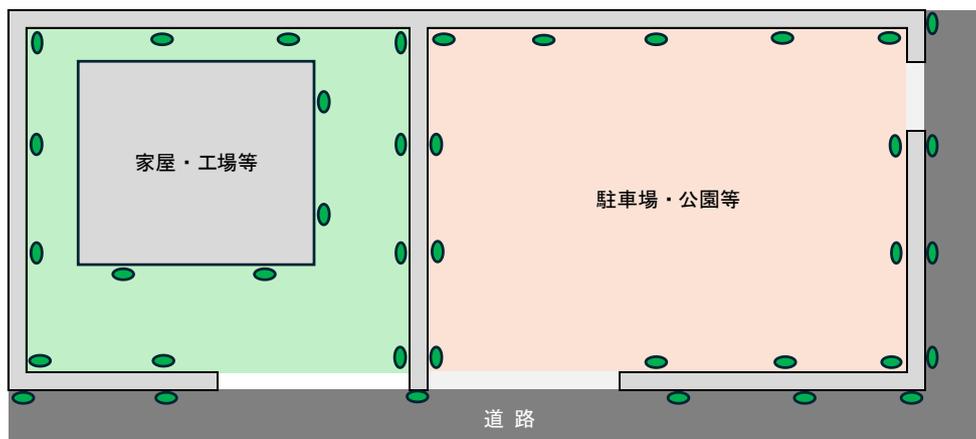
防除時期	選定根拠	優先順位
4月～5月	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の上昇とともに、アリの活動が活発になり始める時期で、餌の需要量が高くなる。 ・コロニーを構成する個体数が比較的少なく、多量の殺虫剤を使わなくてもコロニーを全滅させやすい時期である。 ・4月～5月は新女王アリ候補の幼虫が蛹へと成長する時期で、次世代の女王アリの発生を未然に防ぐことができる。 	高
9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖活動が活発になり、多くの働きアリが出現する。 	中

アルゼンチンアリの生活史と防除時期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
活動期													5～35℃の範囲
繁殖期													20℃以上で産卵
防除時期				◎	◎				◎	◎			◎：適期

4) ベイト剤の設置場所

ベイト剤は、アルゼンチンアリ防除の手引き（環境省）に従い、家屋や公園などの周辺に5m間隔（最大10m）で設置する。また、アルゼンチンアリの行列などを見かける場所があれば、その付近にも設置する。



ベイト剤の設置場所

4) モニタリングの方法

砂糖水を染みこませた5cm角程度の脱脂綿に集まった個体を確認する（砂糖水トラップ法）。また、生息の有無のみの評価であれば、目視確認による調査も適用可能である。モニタリング調査によりアルゼンチンアリの生息が確認された場合は防除を継続する。

なお、砂糖水はコップ1杯の水（約200ml）に50～80g（25～40%の濃度）の砂糖を溶かしたものを使用する。

5 防除計画の推進

アルゼンチンアリの分布域の拡大を防ぐためには、広範囲で同時に防除を行い、巣全体にダメージを与える「一斉防除」が有効である。一斉防除に当たっては、アルゼンチンアリに関する周知啓発および一斉防除の呼びかけなどを行い、町内会や自治会、地域の企業などの協力を得ながら、計画的に実施することが望ましい。

なお、アルゼンチンアリの分布状況などに応じて、防除計画およびアルゼンチンアリの分布図の見直しを含めた柔軟な対応を行う。

1) 普及啓発

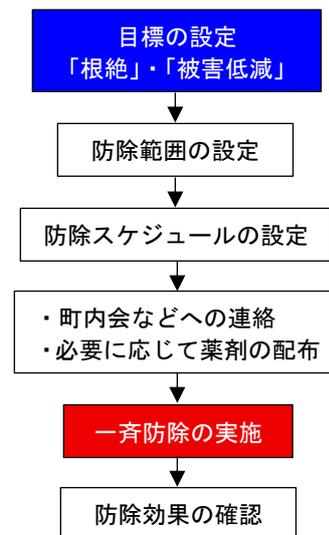
関係地域住民に対してアルゼンチンアリの基礎的知識や防除方法等の普及啓発を行う。

2) モニタリング

防除対策を計画的に進める上で、防除実施後に生息状況をモニタリングし、アルゼンチンアリの分布図を作成する。防除効果を検証するとともに、分布状況を視覚的に把握し、計画的な防除の実施に反映させる。

3) 追加措置

アルゼンチンアリの生息数が多い区域に対しては、必要に応じて薬剤の配布、あるいは行列や巣に液剤を直接散布することを検討する。



一斉防除全体の流れ

6 参考情報

- ・ 特定外来生物「アルゼンチンアリ」の注意喚起について（高知市）
<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/argentine-ant.html>
- ・ アルゼンチンアリの見分け方（環境省）
https://www.env.go.jp/nature//intro/3control/files/manual_argentine.pdf
- ・ アルゼンチンアリ防除の手引き（環境省）
https://www.env.go.jp/nature//intro/3control/files/manual_argentine.pdf
- ・ 侵入生物データベース（国立環境研究所）※本県の分布情報は反映されていない
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/60090.html>

啓発資料

アルゼンチンアリにご注意ください！

～被害防止に対するご協力のお願い～

<アルゼンチンアリとは？>

アルゼンチンアリは、**南米原産のアリ**で人間の交易に附随して、ここ100年ほどの間に世界中に広がった侵略的外来生物の一つです。日本では1993年に広島県で最初に発見され、その後、兵庫県、京都府、愛知県、徳島県などで分布が確認されています。**高知県では2023年に高知市の一部地域で初めて確認**されました。

侵入地では、在来アリの駆逐するなど**生態系への影響**が心配されるほか、頻繁に家屋内へ侵入し、食品に群がったり、布団の中にまで入り込んで安眠を妨げたりと**不快害虫として問題**になっています。このため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」で「**※特定外来生物**」に指定されています。

なお、アルゼンチンアリは**毒が無く**、噛む力も強くなく、人体に外傷を負わせるようなことはありません。

※特定外来生物

生態系・人の生命・身体・農林水産業に大きな被害を及ぼすものが指定されます。生体のほか、卵・種子なども含まれ、飼育・栽培・保管・運搬・輸入が制限されています。

<どこに巣を作るの？>

営巣性（巣を作る性質）が高く、石や木・枯葉の下、コンクリート構造物のひび割れの中、家壁の隙間、カーペットの下、植木鉢やプランターなど、どんな場所でも巣を作ります。このため、**アルゼンチンアリが集まりやすい環境をなくす**ことで、家屋内への侵入を防ぐことができます。

<どうやって被害を防止するの？>

薬剤を使用して被害を防止します。市販されているアリ用の殺虫剤には、その形状によって4種類（スプレー型、液体型、粉末型、えさ型）に分けられます。アリそのものに殺虫剤をかけるだけでは、あまり効果がありません。特に**効果的なのは「えさ型」**で働きアリが巣に持ち帰り、仲間に分け与える習性を利用した殺虫剤です。巣全体に作用するので、**アリの巣を丸ごと駆除したいときや大きく個体数を減らしたいときに効果的**です。

アルゼンチンアリの被害防止には地域住民の皆様のご協力が必要です。

どうかよろしくお願いします。

アルゼンチンアリに関するお問い合わせ
高知市 環境部 新エネルギー・環境政策課
(TEL：088-823-9209)

アルゼンチンアリの見分け方

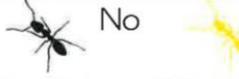
都市部の公園、庭、民家周辺などで見られる日本在来のアリは10数種類ほどです。それらとアルゼンチンアリは以下の手順で区別します。

● 体の色は茶色である。

Yes
茶色（赤褐色～黒褐色）



No
黒～灰色 or 橙色～黄色



※ごく稀に黒っぽいアルゼンチンアリがいるので注意！



● 体の大きさは2.5～3.0mm程度である。

Yes
実物大
2.5～3.0mm



No
実物大
8mm以上 4mm 2mm以下



※1匹では分けにくいので、リーフレット外周の実物大行列と比べてみてください



● 体はスマートである。

Yes
スマート



No
ずんぐり




ここまで来れば残り 2～3種類！

アルゼンチンアリ
外来アリ



「つや・赤み」が弱い
くびれ目立たない
働きアリ（約8倍）

色の濃淡なし

御用

- ①全身ほとんど色の濃淡がない
- ②肉眼では腰のくびれは目立たない
- ③体の「つや」が弱い
- ④体色に赤みがない
- ⑤脚の長さは目立たない
- ⑥行列に頭の大きな兵隊アリはいない
- ⑦建物の中まで行列が入る
- ⑧数が多い時には行列が帯状になる
- ⑨高速でせわしく歩く

※リーフレットの外周が実物大の行列

最後はじっくり観察です。じっくり

オオズアリ 実物大の行列
在来アリ



「つや・赤み」が強い
くびれ目立つ
働きアリ（約8倍）

- ①頭と腰が胸より色が濃い
- ②肉眼で腰のくびれが目立つ
- ③体の「つや」が強い
- ④体色の赤みが強い
- ⑤脚の長さが目立つ
- ⑥行列に頭の大きな兵隊アリが混じる
- ⑦建物内まで行列は入らない
- ⑧行列は線状
- ⑨比較的ゆっくり歩く

トビロシワアリ
在来アリ



働きアリ（約8倍）

- ④体色は黒っぽい（※ほぼ黒いアリなので通常は体色で区別できますが、茶色っぽいものもいるので注意！）
- ⑦建物内まで行列は入らない
- ⑧行列は線状
- ⑨比較的ゆっくり歩く

実物大の行列

高知市アルゼンチンアリ防除計画

令和8年2月策定

編集発行 高知市環境部新エネルギー・環境政策課
〒780-8571 高知市本町五丁目1番45号
TEL 088-823-9209
